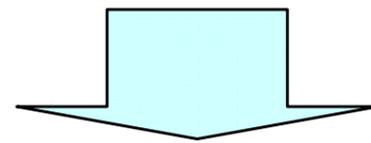


### 1. 検討の背景

○地方ブロック別、都市規模別の重点目標・指標の設定について検討し、国民が身近な変化・改善を感じられる工夫が必要である。

(注)社会資本整備審議会・交通政策審議会計画部会基本問題小委員会資料より



### 2. 検討の目的

○都市規模別に、社会資本整備に対する要請度の高さや整備水準との関連性について検討し、利用者・住民にとってより分かりやすい目標・指標の設定の方法を検討した。

### 3. 国民に対する世論調査の活用・自治体アンケートの実施

○国民の社会資本整備に対する要請度を把握するために、内閣府実施「社会資本の整備に関する世論調査」(H16.6)を利用

○自治体の社会資本整備に対する要請度を把握するために、自治体向けアンケートを実施。(H19.2)

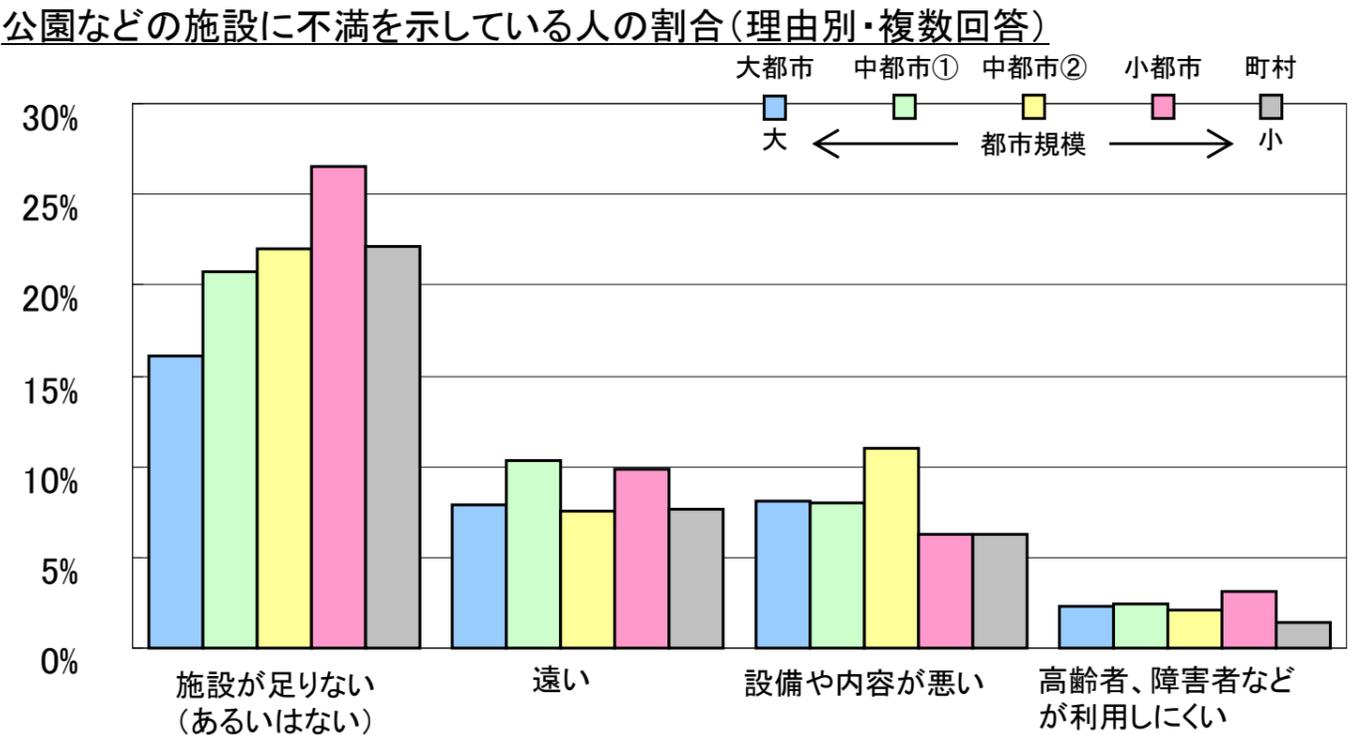
【調査対象】国内の全市町村と東京都特別区（計1,834団体）の建設担当部局

# 4. 「社会資本整備に対する要請度」を都市規模別に把握

## 住民の要請度(例:公園)

○小さい都市規模の方が施設の不足に不満を感じている人が多い。

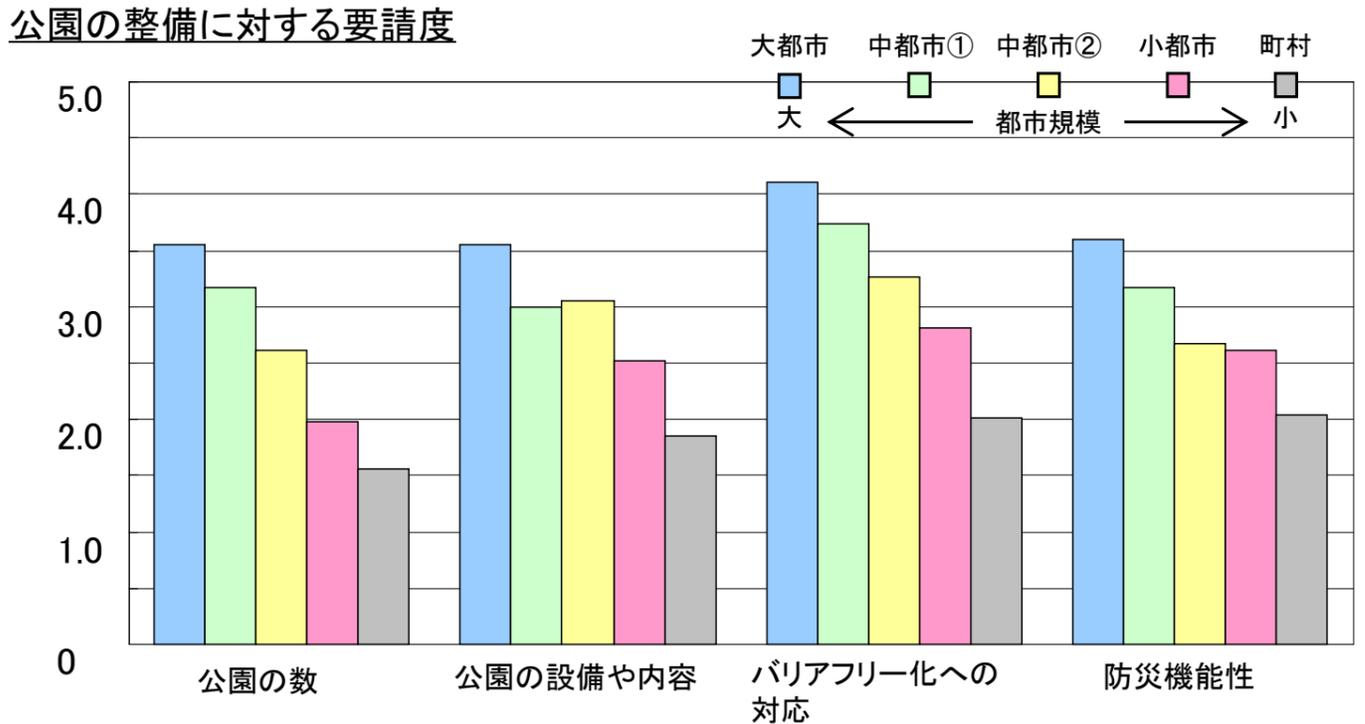
要請度: 不満を示している人の割合



## 自治体の要請度(例:公園)

○都市規模が大きいほど公園の整備について改善の要請度が高い。

要請度: 自治体の課題認識・改善意向を5段階で点数化



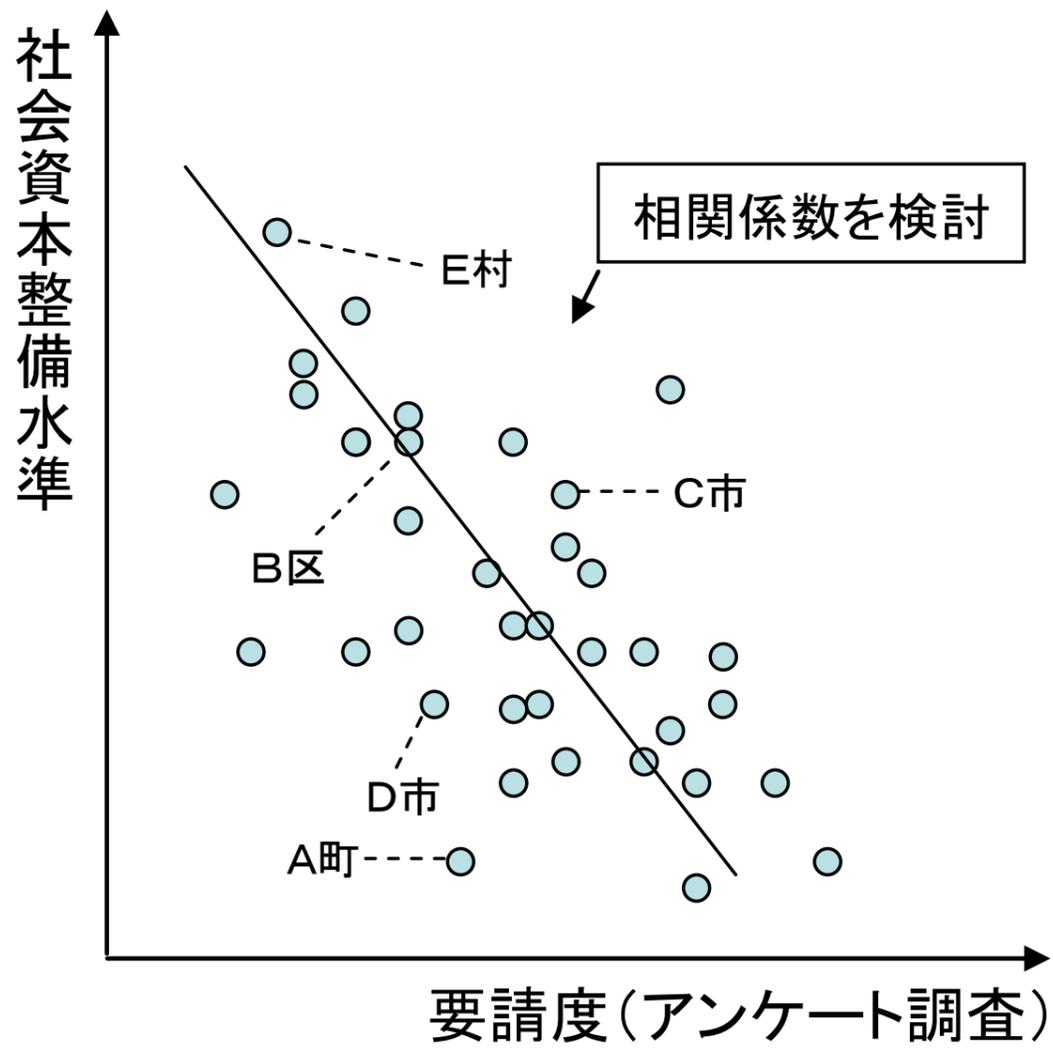
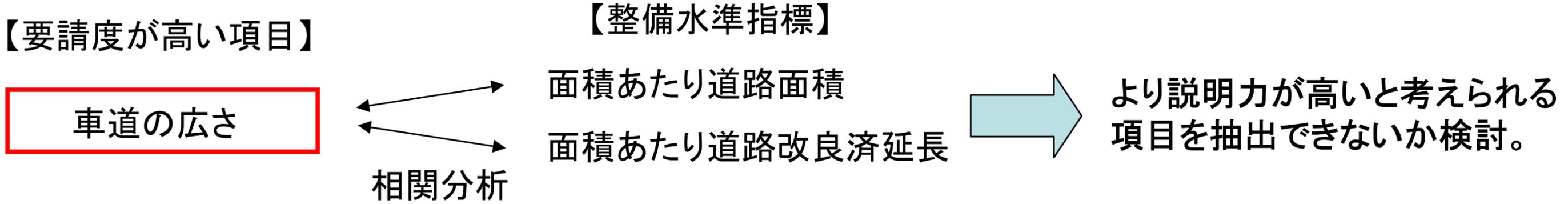
## ○社会資本整備への要請度の都市規模別による傾向を分析

### 分析結果

- 国土保全施設・防災施設の要請度の都市規模による差異は小さい。
- 自治体の要請度は社会資本全般的に大都市の方が高くなる傾向がある。

# 5. 要請度が高い項目の抽出とそれに対応する整備水準指標の検討

○抽出された「要請度が高い項目」について、要請度と、関連する社会資本整備水準（面積あたり、あるいは人口あたりの整備量）との相関係数を算出



**分析結果**

○社会資本整備への要請度と、客観的な人口1人あたり(あるいは面積あたり)の整備水準は必ずしも相関しない結果となった。

○客観的な整備水準が高くても、近隣の都市と比較してより高い整備水準を要請してしまう場合もあること等が要因と考えられる。

## 6. 都市規模別の目標・指標を設定することについて

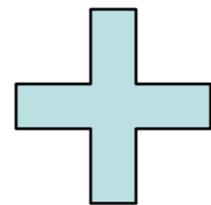
○本検討においては、社会資本整備の要請度と整備水準指標に明確な相関がない結果となった。

○都市規模別に整備水準の差が大きい下水道事業において、都市規模別の目標・指標の設定について検討を行った。

しかしながら、下水道事業においては、中小市町村に手厚い補助制度となっているが、閉鎖性水域における富栄養化防止及び水道水源の水質保全の重要性を踏まえたこれらの水域への汚水処理の重点化や、地下街など都市機能が集積した地区等への浸水対策の重点化など、都市規模ではなく地区の特性に着目した施策の重点化の重要性が指摘されているところ。

このため、今後の施策展開における指標の設定については、都市規模別とすることが必ずしも適切ではないと考えられる。

○中小市町村に手厚い補助制度



○三大湾や湖沼等の閉鎖性水域における富栄養化防止及び水道水源の水質保全の重要性を踏まえたこれらの水域への汚水処理の重点化  
○近年の集中豪雨の頻発、都市化の進展による都市型水害の深刻化を踏まえた、地下街など都市機能が集積した地区等への浸水対策の重点化 等

○社会資本整備の目標・指標の設定については、都市規模のみに着目した設定は困難である。国民が身近な変化・改善を感じられるような工夫については、地方ブロックの社会資本の重点整備方針において、地域の特性を踏まえた目標を設定する方向で対応したい。

自治体アンケート項目の分類

(参考)

	道路（住宅周辺の道路、国道などの幹線道路）	公園	水環境	公共交通（バス）地域の公共交通（地域内のバス、鉄道等）	公共交通（鉄道）幹線の公共交通（鉄道・航空等）	下水道関連	国土保全施設・防災施設避難施設
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車道がせまい</li> <li>・歩行者（高齢者、障害者なども含む）の安全が確保されていない</li> <li>・<u>バリアフリー化への対応（道の段差・勾配の改善、誘導ブロックの設置、幅員の確保等）</u></li> <li>・違法駐車や放置自転車がが多い</li> <li>・電柱や電線などで景観が損なわれている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の数が少ない</li> <li>・公園内の設備や内容が悪い</li> <li>・<u>バリアフリー化への対応（公園内の段差の解消、エレベーターの設置等）</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質の汚染や悪臭がひどい</li> <li>・レクリエーションや散歩などの場として、住民に活用されていない</li> <li>・<u>河川空間などの親水のための空間が不足している</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線が不便である</li> <li>・<u>混雑している</u></li> <li>・<u>バリアフリー化への対応（駅やバスターミナルにおける、エレベーター、手すり、スロープ等の設置、ノンステップバスの導入等）</u></li> <li>・遠くにある（主要駅や空港へのアクセスが不便）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混雑している</li> <li>・<u>バリアフリー化への対応（駅や空港における、エレベーター、手すり、スロープ等の設置、ノンステップバスの導入等）</u></li> <li>・遠くにある（主要駅や空港へのアクセスが不便）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水の排水が悪い</li> <li>・下水道の普及率が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各戸から避難地への所要時間が平均的に長い</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車の騒音・振動や排気ガスによる環境の悪化が気になる</li> <li>・渋滞する</li> <li>・電柱や電線などで景観が損なわれている</li> <li>・<u>踏切問題（開かずの踏切、遮断機のない踏切等）</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の数が少ない</li> <li>・公園内の設備や内容が悪い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質の汚染や悪臭がひどい</li> <li>・景観が損なわれている</li> <li>・魚、水鳥などの生態系が減少している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>環境対応バスの導入が遅れている</u></li> <li>・<u>踏切問題（開かずの踏切、遮断機のない踏切等）</u></li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水の排水が悪い</li> <li>・下水道の普及率が低い</li> </ul>	—
安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車道がせまい</li> <li>・歩行者（高齢者、障害者なども含む）の安全が確保されていない</li> <li>・夜間照明や信号機、標識が少ない</li> <li>・<u>踏切問題（開かずの踏切、遮断機のない踏切等）</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>防災機能性が低い</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質の汚染や悪臭がひどい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>踏切問題（開かずの踏切、遮断機のない踏切等）</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>地震などへの対応が不十分である</u></li> <li>・<u>踏切問題（開かずの踏切、遮断機のない踏切等）</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水の排水が悪い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各戸から避難地への所要時間が平均的に長い</li> <li>・避難地（場所）又は避難経路の周知が不足している</li> <li>・<b>河川の洪水対策のための施設整備が不十分</b></li> <li>・<b>津波・高潮対策のための施設整備が不十分</b></li> <li>・<b>海岸浸食防止のための施設整備が不十分</b></li> <li>・<b>土砂災害対策のための施設整備が不十分</b></li> <li>・<b>避難地の整備が不十分</b></li> <li>・<b>避難路の整備が不十分</b></li> </ul>
活力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞する</li> <li>・<u>道路整備率が低い</u></li> <li>・<u>他地域とのアクセスが悪い</u></li> <li>・<b>拠点的な空港・港湾へのアクセスが悪い</b></li> <li>・<u>踏切問題（開かずの踏切、遮断機のない踏切等）</u></li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションや散歩などの場として、住民に活用されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>混雑している</u></li> <li>・路線が不便である</li> <li>・<u>踏切問題（開かずの踏切、遮断機のない踏切等）</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混雑している</li> <li>・遠くにある（主要駅や空港へのアクセスが不便）</li> </ul>	—	—

## 【自治体アンケート回収結果】

○2007年2月時点の全市町村（東京都内は特別区23区含む） 1,834団体へ配布

○回収率は72.8%となり、都市規模別に見ても比較的高い回収率を確保

都市規模 (人口)	大都市 東京都区部 政令指定都市	中都市① 30万人以上	中都市② 30万人未満 10万人以上	小都市 10万人未満	町村	不明	全市町村 (23区含む)
配布数	38	55	181	530	1,030	—	1,834
回収数	35	44	140	367	680	70	1,336
回収率	92.1%	80.0%	77.3%	69.2%	66.0%	—	72.8%

## 【社会資本の整備水準指標の例】

道路実延長、道路改良済延長、歩道延長、公園箇所数、下水道